



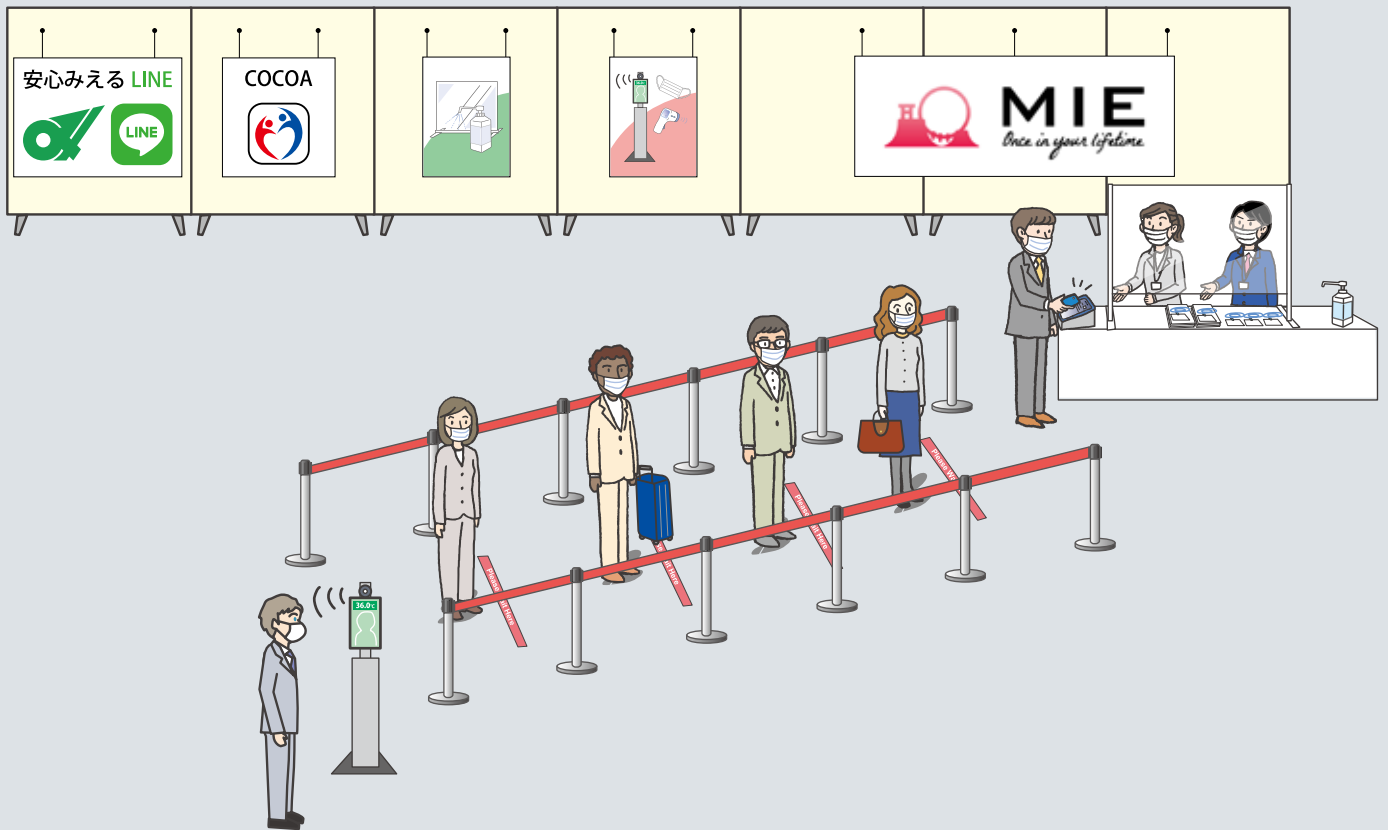
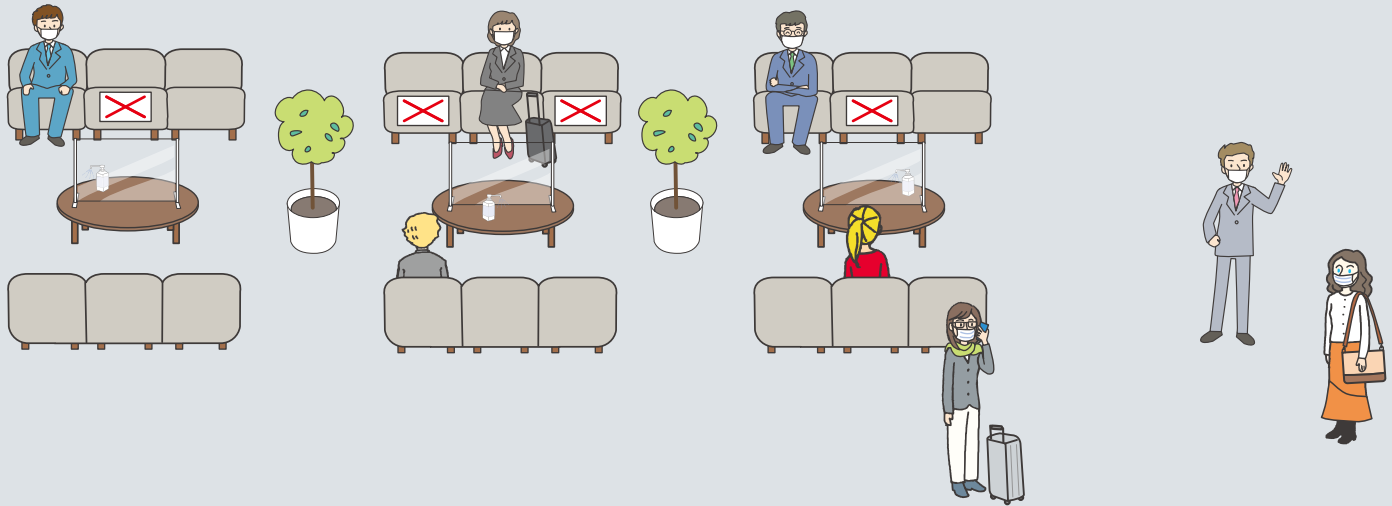
国際会議等 MICE
主催者向けガイドライン&実践事例集

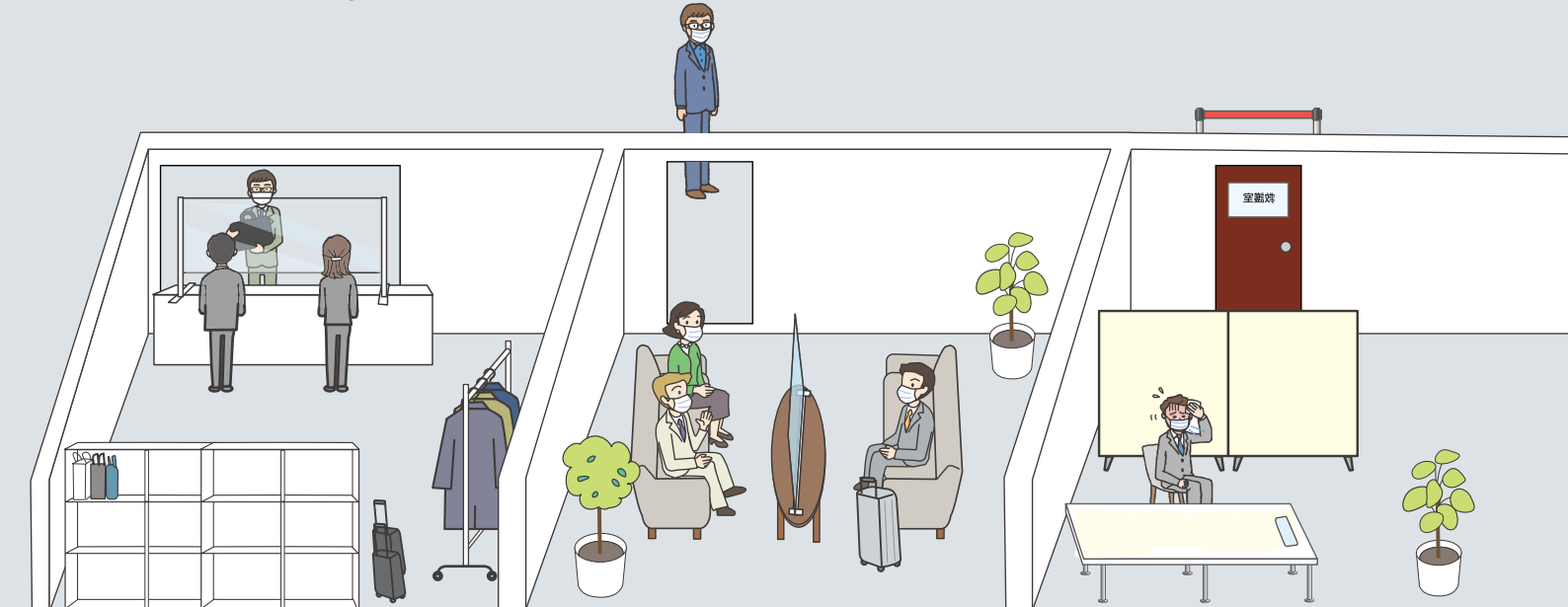
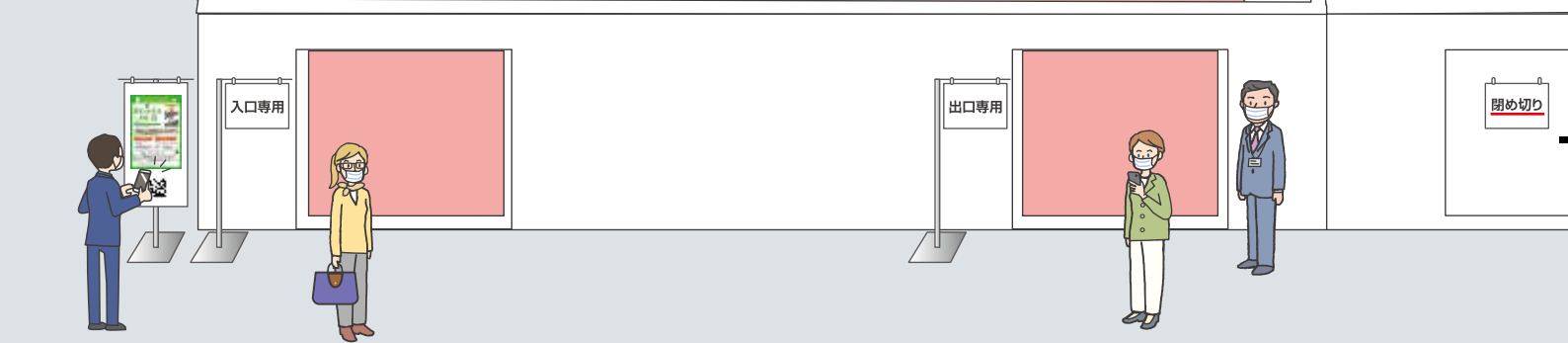
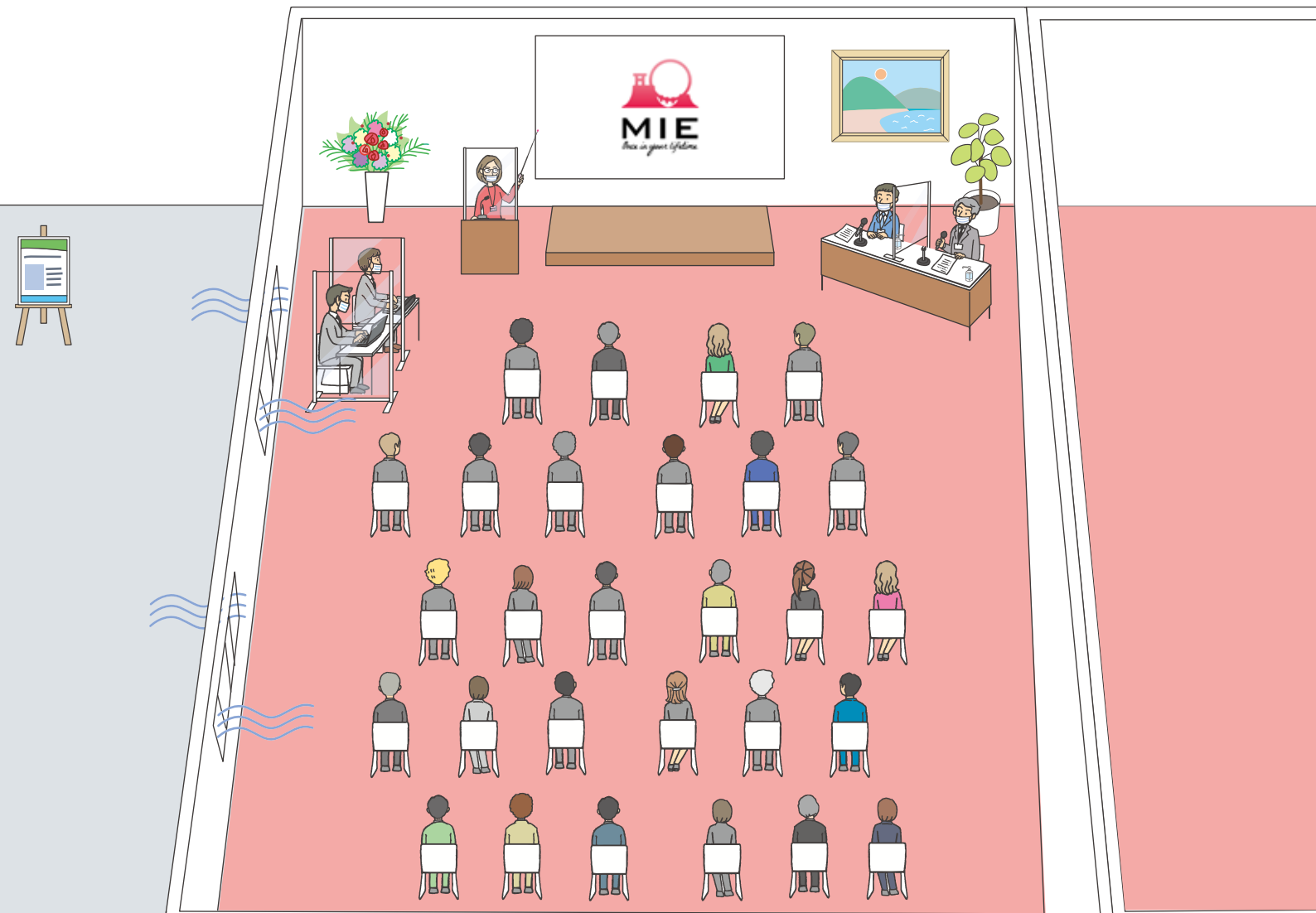
—安全・安心・新しい時代の MICE 開催に向けて—

概要版

三重県







新しい時代の MICE

新型コロナウイルス感染症の拡大は、MICE の開催形式や参加形態に大きな変化をもたらしました。この変化は、感染症の収束後も新しい時代の MICE として続くことが見込まれます。

MICE の開催効果

- 主催者 国内外から来訪する参加者にホストとして交流の機会の提供
- 参加者 国内外のキーパーソンや関係者とのネットワークの構築
- 開催地 参加者との交流による新たな取組の機会創出や地域への経済波及効果

国家戦略としての MICE 誘致

- 世界では MICE を国家や都市の成長戦略として位置づけ
- 日本においても観光立国実現に向けた重要な柱の一つとして位置づけ
- 観光庁は MICE 関係者とのオールジャパン体制の構築を目指し 2015 年にブランドコンセプトを作成

ニューノーマル時代の MICE 開催

- MICE 開催時における ICT の活用、開催地における環境への配慮、地域の特色を活かした特別な体験などの取組がコロナ禍によって加速
- オンラインでの開催が増える一方、F2F（Face to Face）のリアルな交流が再評価
- オンラインの併用、魅力ある地域での開催、参加者と地域との交流などの要望が増加

オンラインの利用

- オンライン開催（ライブ形式 / オンデマンド形式）
- オンラインを併用した開催（ハイブリッド形式）
- 会場を国や地域ごとに分散開催（ハブ&スポーク形式）

オンラインの利用にあたっては、メリット、デメリットを検討のうえ、開催目的の達成に最も効果的で予算に適した方法を選択することが重要です。

メリット

- 参加者 移動の時間、費用を削減、さらにオンデマンドの場合、繰り返し、自由な時間に視聴可
- 主催者 参加者の増加による収入増、会場費の支出減、招請にかかる費用減

デメリット

- 参加者 コミュニケーションの制約、情報管理（学術データの拡散リスク）、海外との時差
- 主催者 技術的な制約、通信環境・オペレーションにかかるリスク、配信・収録等にかかる経費増、セキュリティ管理の高度化対応、収容人数への配慮、スポンサー収入の不確実性

感染症対策

- 政府による「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」
- 新型コロナウイルス感染症対策本部からの発表内容
- MICE に関わる業界団体のガイドライン
- 業種別に定めるガイドライン

三重県での MICE 開催のメリット

三重県は県内での MICE の開催を歓迎します！

MICE の開催をお手伝いします！

三重県では 2016 年の伊勢志摩サミットの開催をきっかけに、地域に大きな経済効果をもたらす MICE 誘致に取り組んでいます。「三重県観光振興基本計画」においても、「観光誘客の推進」の取組の一つとして「MICE 開催地としてのブランド価値向上」を掲げ、国際会議やインセンティブ旅行など MICE の開催をめざしています。

誘致・開催支援として、主催者の皆さんに対し主に次のようなサービスを提供しています。

- 海外 MICE 誘致促進補助金
- 会議場、宿泊施設、レセプション会場（三重らしいユニークな会場含む）、エクスカージョンなど、主催者のニーズに合わせた開催案のご提案
- 現地へのお問合せのワンストップサービスの提供（市町の補助金を含む）

参加者の皆様の満足度がさらに向上します！－三重の食、産品、観光のご案内－

- 食事、ブレイク、レセプション、お土産等に、開催地ならではの食や産品を採用
→参加者の満足度を向上、その MICE に対する地元の好感を上昇、地域経済にも貢献
- 会期前／会期後のエクスカージョンや同伴者プログラムで、地元の観光地、企業、伝統産業を訪問
→参加者の学びを深め、参加者と地元との新たな取組のきっかけなど、さまざまな効果
- お問合せは巻末の三重県 MICE 誘致担当までお寄せいただくとともに、次のサイトをご参照ください。

三重の食結び



三重グッドデザイン

MIE GOOD DESIGN PRODUCTS
三重グッドデザイン



観光三重



みえセレクション



感染予防物品の調達先をご紹介します！

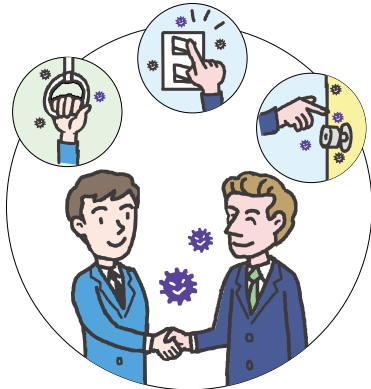
- 現地の事前視察や会場の配置図などを確認しながら、会場全体をシミュレーションして適切な場所に適切な数量を配置することが必要です。
- お問合せは巻末の三重県 MICE 誘致担当までお寄せいただくとともに、次のサイトをご参照ください。
「感染予防に資する物品の調達にかかる県内製造企業からの調達優遇制度について」
→「5 登録者名簿」にマスク、消毒液、フェイスシールドなど物品別に企業の連絡先が掲載されています。



MICEにおける感染リスク

MICEはその性質上多くの参加者を一定の範囲に集めることから、接触感染、飛沫感染のリスクを避けるなど感染経路を断つ必要があります。また、感染拡大のリスクを高める「3つの密」を回避することが不可欠です。接触については、他者と共有する物品やドア等、手が触れる場所と頻度を特定します。

また、飛沫については、会場における換気の状態を確認するとともに、ソーシャルディスタンスを確保します。以下の点には特に注意が必要です。



接 触



飛 沫



三 密

●受付では

- (接触) 現金、クレジットカード、ID、プログラム、コンGRESバッグなど
- (飛沫) 待機時の行列、運営スタッフと参加者との距離など

●クロークでは

- (接触) クローク札、預ける荷物の取扱いなど
- (飛沫) 待機時の行列、運営スタッフと参加者との距離など

●パブリックスペースでは

- (接触) テーブル、椅子、ソファ、エレベーターのボタン、エスカレーターのベルト、手すり、トイレなど
- (飛沫) 特定多数の参加者による混雑時の距離など

●講演（セッション）会場では

- (接触) ドア、テーブル、椅子、演台、マイク、PC、同時通訳レシーバーなど
- (飛沫) 入場・退場時の行列、聴講者の座席配置、講演者同士の距離、講演者と参加者の距離、換気の状態など

●パーティ・食事会場では

- (接触) ドア、テーブル、椅子、トング、カトラリー、グラスなど
- (飛沫) テーブル配置、席次、アトラクション（大きな声を出す場合）、立食形式の場合の参加者同士の距離、換気の状態など

●展示会場では

- (接触) 展示ブース、展示物、出展者の説明用資料など
- (飛沫) 商談時の出展者と参加者との距離、ブースでの説明時の出展者と参加者との距離、ブース配置、通路の幅など

MICE の開催方針の決定

開催方針の決定にあたっては、主催者、運営事業者、関係施設等においてあらかじめ役割分担・責任範囲を定め、関係者間で共有することが重要となります。

- 外部要因 感染拡大状況によって政府や自治体などからの要請や指針の有無など
- 内部要因 個々の MICE の参加者層、参加が見込まれる国・地域の状況など

開催方針の決定プロセス

- 開催の延期、中止、あるいはオンラインの併用などを判断する基準やプロセスを決定
- 運営人員などの確保、施設利用の縮小やキャンセルへの対応、参加者への開催方法の変更を周知する方法などを予め想定し、関係者間で共有
- 地域の感染状況に変化があった場合、柔軟に対応できる対策を関係者間で共有

開催会場・手法の検討

- 会場の選考
会場の収容能力の拡大、現地開催とオンラインの併用、会場規模の縮小など。
- 会議プログラムや展示会の特性に応じた検討
オンライン併用について、プログラムの一部をオンライン併用、海外参加者のみオンデマンドなど。

開催目的に適した手法の検討

- ニューノーマルの時代は、オンラインのメリットも踏まえ、開催目的の達成に適した開催手法を検討。
- それぞれの目的に応じた手法を選択し、最大の効果をあげることが必要
より多くの海外の研究者と情報を共有する、育児、介護に関わる世代の参加者にも参加のハードルを下げて研修効果を高める、参加者間の交流を活性化する。

ICT の活用

- 他の開催事例の活用や運営事業者などからのヒアリングにより、最新の情報を収集する
- 目的の達成に適したサービスを選択することが重要
- 受付の無人化、キャッシュレス決済、プログラムの事前登録制、入場人数カウントなど感染症拡大予防に資する製品や技術も積極的に活用する

海外参加者

- 海外からの招請講演者等に対しては、入国制限に関する最新情報に従い、オンライン講演に切り替える等、柔軟な対応が必要
- 主催者あるいは来日参加者が負担する渡航費用について、渡航できない場合のロスを最小限にするよう考慮

1 基本の感染症対策

- マスクの着用
- ソーシャルディスタンスの確保
- 三密回避
- 換気



2 参加者への対応

- 公式ウェブサイトやSNSを利用し、感染症対策の取組みや「安心みえるLINE」および「COCOA」の利用をお願い
- 事前参加登録を実施し、あらかじめ参加者を把握するとともに、参加費の事前決済や、資料の電子配布などICTを活用した運営の実施

新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）



Google Play



App Store

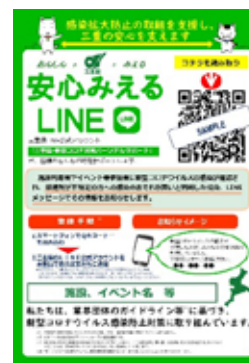
三重県安心みえるLINE

「安心みえるLINE」の利用にあたっては、「三重県 - 新型コロナ対策パーソナルサポート」を「友だち追加」してください。

こちらのQRコードを、LINEアプリの「友だち追加」
「QRコード」を読み込むことで友だち登録できます。



利用方法や登録方法は、三重県ホームページ新型コロナウイルス感染拡大防止システム「安心みえるLINE」についてをご覧ください。

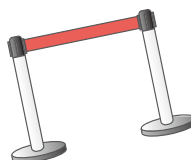
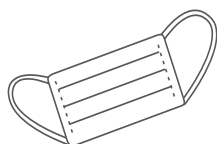


3 関係者への対応

- 運営スタッフのほか、スポンサー企業や関連事業者などと運営方針や感染症対策の協議および情報共有をすることで円滑な運営を実施
- 感染が発生した場合に備え、保健所、医療機関、感染相談窓口など管轄機関の連絡先リストや対応手順を共有

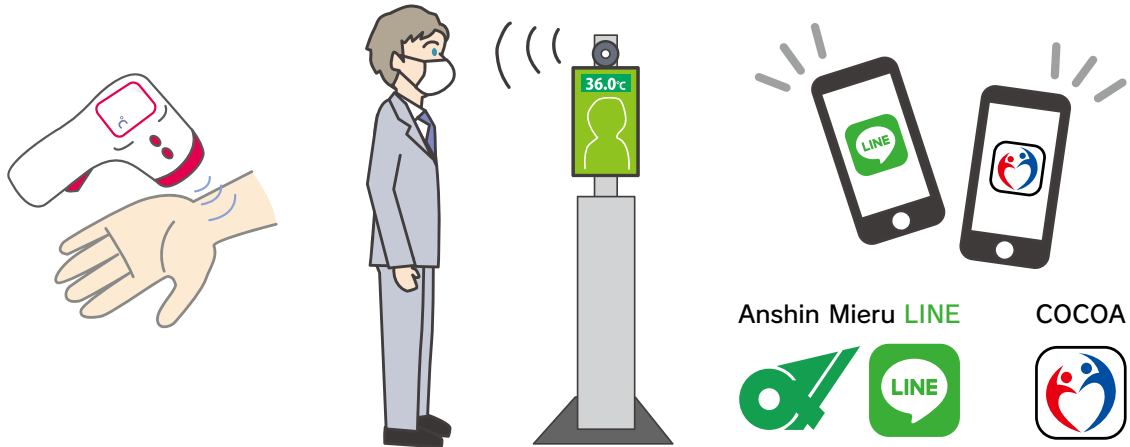
4 会場内の対応

- 会場内など、感染症対策備品（非接触体温計、アルコール消毒液、フットマーカ、飛沫感染予防のアクリル板、ロープパーテーションなど）の準備、設置の確認



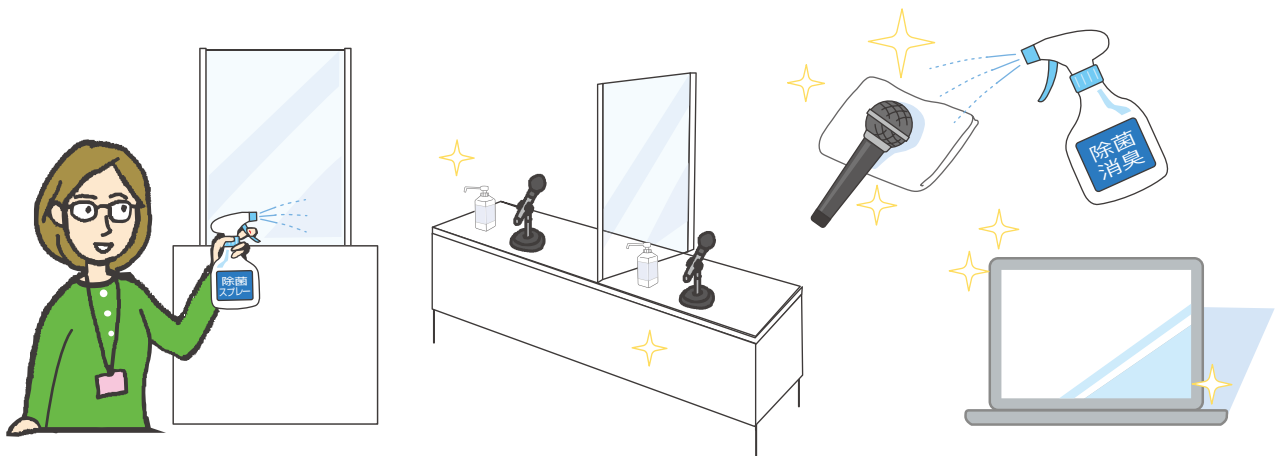
1 受付

- 検温の実施に加え、接触確認アプリ未登録の参加者には「安心みえる LINE」および「COCOA」などの有事の際に情報共有ができるアプリの利用の呼びかけ（前ページ参照）



2 講演（セッション）会場

- 登壇者や司会者などが利用する演題付近には、飛沫感染防止用のアクリル板などを設置し、利用したマイクやパソコンなどの備品は発表者ごとに消毒や交換を実施



3 パーティー・食事会場

- buffet形式を極力避け、弁当などパッケージされた食事を提供し、事前に座席にセッティングするか、各自に取っていただく形で提供

4 有事対応

- 感染が疑われる参加者が発生した場合に備え、「隔離スペース」を設置し、開催地を所管する保健所の「受診・相談センター」に症状を相談

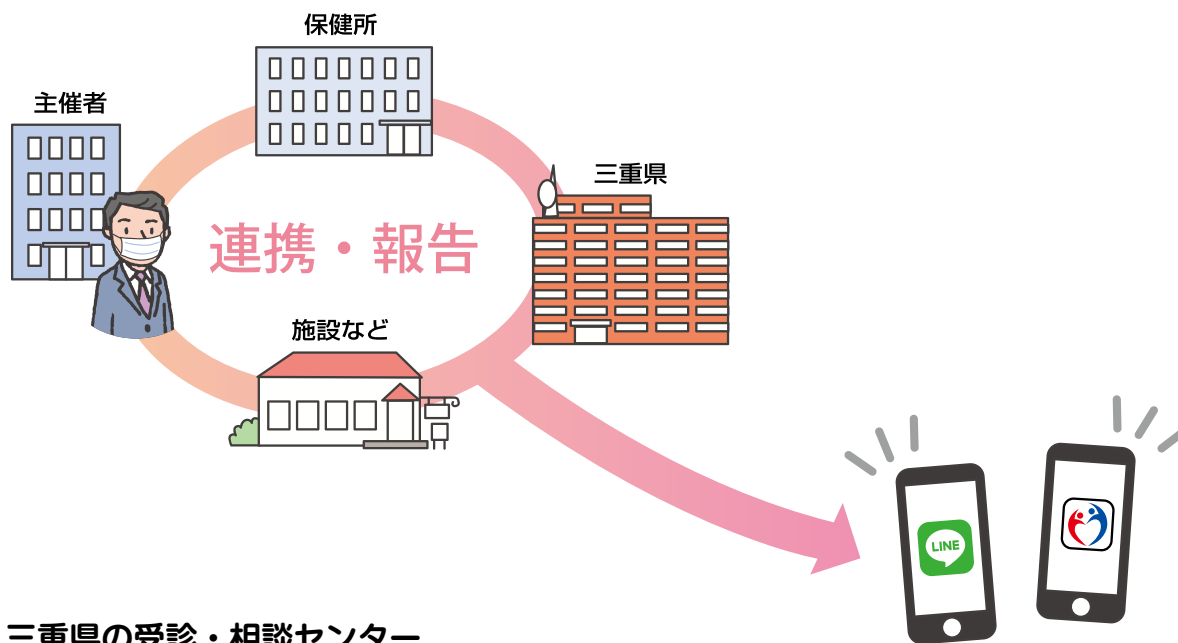
1 リストの作成・管理

- 開催後に感染者が認められた場合に備え、運営関係者、参加者（システムの参加者名簿を利用）のリストなどの個人情報を厳重に管理



2 公的機関・関係者への情報提供

- 感染者、感染が疑われる参加者が発生した場合は、すみやかに開催地を所管する保健所の「受診・相談センター」に相談し、指示に従って求められる対応を実施



三重県の受診・相談センター

9時00分～21時00分（土曜日・日曜日・祝日も対応）

対象者へ通知

保健所名	電話
桑名	0594 - 24 - 3619
四日市市	059 - 352 - 0594
鈴鹿	059 - 392 - 5010
津	059 - 223 - 5345
松阪	0598 - 50 - 0518

保健所名	電話
伊勢	0596 - 27 - 5140
伊賀	0595 - 24 - 8050
尾鷲	0597 - 23 - 3456
熊野	0597 - 89 - 6161

国際会議等 MICE 主催者向け開催ガイドラインおよび実践事例集（概要版）

令和3(2021)年3月

三重県 雇用経済部 観光局 海外誘客課

514-8570 三重県津市広明町 13

TEL 059-224-2847 FAX 059-224-2801

MAIL inbound@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/INBOUND/HP/MICE/>

